



福山高等学校  
図書館便り  
No. 2  
(R元.5.27号)

# Library News



5月の花  
【バラ】  
花言葉は  
〈愛・美〉

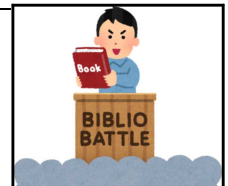
新元号『令和』が早くも生活になじみ、図書館でもほんわかした時間が流れているように思えます。長い休み中に読んだ本が面白かった等と報告があったり、本を読みながらいつの間にか寝てしまっている人を見かけたりします。中間考査も終わりましたし、お疲れ気味の人、癒しの図書館に来てくださいね♪もう少ししたら、新しい本も入りますよ♪

福山高校では図書委員会主催で『ビブリオバトル』を年2回開催しています。「ビブリオバトルって何？」という人もいるでしょう。公式HPによると、『ビブリオバトルは誰でも(小学生から大人まで)開催できる本の紹介コミュニケーションゲームです。【人を通して本を知る、本を通して人を知る】をキャッチコピーに日本全国に広がっています。』とあります。波線のところがポイント！「こういう本があったんだ」と知ることができるだけでなく、本についての語りから、発表者の人となりを知ることができる。これがビブリオバトルの醍醐味なのです！

## ビブリオバトル公式ルール

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に一人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表のあとに参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
4. 全ての発表が終了したあとに、「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を参加者全員(発表者・観戦者)で行い、最多票を集めた本を『**チャンプ本**』とする。

(知的書評合戦ビブリオバトル公式ウェブサイト(<http://www.bibliobattle.jp/>より))



1回目は7月に開催予定です。発表者として参加し、お気に入りの本の魅力を伝えてみませんか。また、観戦者として参加も大歓迎！先生方も発表者・観戦者として是非参加を！7月をお楽しみに！

H30年度 1回目 チャンプ本 【茜色の記憶】（著：みのり）



海辺の街に住む、17歳のくるみは幼馴染の凧に恋している。ある日宛先不明の手紙が届いたことをきっかけに、凧には手紙に宿る“記憶を読む”特殊能力があると知る。しかしその能力には、他人の記憶を読むたびに凧自身の大切な記憶を失うという代償があった。くるみは凧の記憶を取り戻してあげたいと願うが、そのためには凧の中にあるくるみの記憶を消さなければならなかった…。記憶が繋ぐ、強い絆と愛に涙する感動作！

(PR TIMES HPより抜粋)

H30年度 2回目 チャンプ本 【パーフェクトフレンド】（著：野崎まど）



周りのみんなより、ちょっとだけ頭がよい小学四年生の理桜。担任の千里子先生からも一目置かれている彼女は、ある日、不登校の少女「さなか」の家を訪ねるようにお願いをされる。能天気少女のややや（注：「ややや」で名前）や、引っ込み思案の柊子とともに理桜は彼女の家に向かうが、姿を現したさなかは、なんと早々に大学での勉学を身につけ、学校に行く価値を感じていない超・早熟天才少女であった。そんな彼女に理桜は、学校と、そこで作る友達がいかに大切であるかということを説くのだが……果たしてその結末は!?

(KADOKAWA HPより抜粋)

司書の気になる1冊  
(5月)



【本と鍵の季節】 著：米澤穂信

高校2年生の堀川と松倉は、クラスは違うが図書委員の仕事で毎週1回、放課後の図書室で顔を合わせるだけの関係だった。しかし、二人の前に現れる「謎」が彼らを新しい関係へと連れ出していく。試験問題盗難の疑惑をかけられた生徒の、アリバイ探し。自殺した生徒が最後に読んでいた本の謎…。全6編で構成された連作短編集。

(ダ・ヴィンチ2月号より)

【図書館よりお願い】(図書館でのマナーに関して)

- ①本を長期間借りている生徒は早急に返却してください。
- ②本校図書館内は飲食禁止です。
- ③学校に持込・使用が禁止されているものは図書館でも持込不可・使用不可です。

